



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月29日

上場会社名 杉本商事株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9932 URL <https://www.sugi-net.co.jp/>  
 代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 杉本 正行  
 問合せ先責任者（役職名） 執行役員管理本部長（氏名） 中根 潤二 (TEL) 06(6538)2661  
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月1日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	22,774	△1.7	651	△27.9	905	△20.9	658	△11.8
2025年3月期中間期	23,175	5.1	904	△0.2	1,144	△4.4	746	△3.7

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 976百万円(121.4%) 2025年3月期中間期 440百万円(△61.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	35.60	—
2025年3月期中間期	37.56	—

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり中間純利益」を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	41,896	33,608	80.2
2025年3月期	42,406	35,485	83.7

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 33,608百万円 2025年3月期 35,485百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	27.00	—
2026年3月期	—	27.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」としております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の1株当たり期末配当金は54円、年間配当金は89円となります。

## 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,800	4.7	2,380	△0.7	2,960	1.8	1,935	0.9	101.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	22,798,474株	2025年3月期	22,798,474株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,949,260株	2025年3月期	3,642,260株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	18,503,688株	2025年3月期中間期	19,883,723株

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)、期末自己株式数及び期中平均株式数(中間期)を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、賃金上昇と雇用環境の安定を背景に緩やかな回復基調を示しました。一方、円安による輸入物価の上昇が生活必需品価格に影響を与え、消費者心理には慎重さも見られました。また、資材価格の高騰は依然として続いており、ウクライナ紛争や中東情勢の緊迫化、米国の相互関税への備えなど、先行きには不透明な状況が続いております。

当グループを取り巻く機械器具関連業界におきましては、生成AIや二次電池向けの投資に増加傾向が見られ、今後の増産に向けた意欲は継続しているものの、昨今の物価高騰の影響を受け、設備投資につきましては先行き不透明感を背景に抑制的に推移致しました。

このような環境のもと、2024年5月に発表した第4次中期経営計画『Start of the next 100 years～変化へチャレンジ』に基づき、変化に強い筋肉質な企業体質への転換を図るとともに、顧客視点を重視した経営を推進し、グループ一丸となって挑戦を続け、当該経営計画の着実な遂行に取り組んでまいりました。また、当グループは2025年4月25日、株式会社INDUSTRIAL-Xと資本業務提携契約を締結し、INDUSTRIAL-X社の持つコンサルティングサービス・技術力と弊社の顧客基盤・DX商材を掛け合わせる事が可能となり、スピード感をもって生産現場のDXコンサルティングからDX導入に関わるサービスが一通貫で提供を通じて、製造業のDX化に貢献してまいります。

当中間連結会計期間の業績につきましては、売上高227億74百万円(前年同期比1.7%減)、人件費の増加、本社屋と新基幹システムの減価償却費の増加等により経常利益9億5百万円(前年同期比20.9%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は6億58百万円(前年同期比11.8%減)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (東部)

東部では、生成AI関連分野が引き続き好調を維持しており、関連企業の業績も堅調に推移しています。一方で、企業全体としては設備投資や保全部品・消耗品の購入に対して慎重な姿勢が見られ、買い控えの傾向が続いています。特に製造業においては、今後の増産に向けた意欲はあるものの、昨今の物価高騰の影響もあり、設備投資に踏み切る動きは鈍化しています。生成AI分野の成長が目立つ中で、その他の分野では依然として慎重な経営判断が求められ、全体としては低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は53億80百万円(前年同期比4.2%減)、セグメント利益は1億5百万円(前年同期比52.7%減)となりました。

#### (中部)

中部では、自動車業界において二次電池向けの投資も始まり徐々に回復傾向を見せておりますが、依然として米国の関税政策により輸出の先行き不透明感が生じ設備投資は控えめな状況となり、全体としては低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は64億54百万円(前年同期比1.3%減)、セグメント利益は1億29百万円(前年同期比41.9%減)となりました。

#### (西部)

西部では、ハイブリッド車向けバッテリー生産設備への投資が進展したほか、半導体製造装置メーカーの生産が前期に引き続き堅調に推移するなど、成長分野が地域の工業活動を下支えています。

一方で、工業生産全体としては低調な動きも見られ、自動車製造業による押し上げ効果が限定的であるほか、電子部品、デバイス、一般機械、鉄鋼などの分野では全国平均を下回る水準で推移し、全体としては低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は100億82百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益は3億58百万円(前年同期比9.2%減)となりました。

## (海外)

海外では、アジア地域が全体として安定的な推移を見せました。特に半導体・ハイテク分野における需要の底堅さが、当社の事業活動を下支えする要因となっております。主要取引国である中国では、景気の先行きに不透明感が残るものの半導体業界は堅調に推移し売上は好調でしたが、利益は低調に推移致しました。

この結果、当セグメントの売上高は8億57百万円(前年同期比5.2%増)、セグメント利益は58百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当中間連結会計期間における総資産は418億96百万円となり前連結会計年度末に比べ5億9百万円減少しております。資産につきましては主に現金及び預金が9億8百万円ならびに投資有価証券が15億15百万円増加する一方で、商品が66百万円、受取手形及び売掛金が19億54百万円、電子記録債権が4億92百万円減少したためであります。負債は82億88百万円となり前連結会計年度末に比べ13億66百万円増加しております。これは主に買掛金が8億97百万円、未払法人税等が1億94百万円減少する一方で、短期借入金が23億円、繰延税金負債が1億69百万円増加したためであります。また純資産は336億8百万円となり前連結会計年度末に比べ18億77百万円減少しております。これは主にその他有価証券評価差額金が3億34百万円、利益剰余金が1億33百万円増加する一方で、自己株式の取得に23億27百万円支出したためであります。

## キャッシュ・フローの状況の分析

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資産」という。)は、前連結会計年度末より8億84百万円増加し、81億37百万円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は24億21百万円(前中間連結会計期間は21億22百万円の収入)となりました。これは主に、仕入債務の減少8億98百万円、法人税等の支払額5億22百万円の支出に対し、税金等調整前中間純利益10億14百万円、売上債権の減少24億46百万円の収入によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は9億95百万円(前中間連結会計期間は6億91百万円の使用)となりました。これは主に、投資有価証券の取得による10億35百万円の支出によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用した資金は5億42百万円(前中間連結会計期間は14億34百万円の使用)となりました。これは、短期借入による23億円の収入に対し、自己株式取得による23億27百万円の支出、配当金の支払5億14百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年4月25日に公表しました業績予想から変更はありません。

業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しているため、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,321,054	8,229,098
受取手形及び売掛金	10,922,460	8,968,284
電子記録債権	5,428,440	4,936,113
商品	1,639,666	1,573,092
その他	351,256	174,844
貸倒引当金	△1,571	△1,333
流動資産合計	25,661,307	23,880,100
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,778,950	3,670,741
構築物(純額)	55,692	53,822
車両運搬具(純額)	11,001	8,676
工具、器具及び備品(純額)	70,439	56,308
土地	6,170,872	6,178,956
建設仮勘定	—	10,000
有形固定資産合計	10,086,958	9,978,506
無形固定資産		
電話加入権	38,894	38,894
ソフトウェア	1,068,381	949,807
のれん	240,020	211,218
無形固定資産合計	1,347,295	1,199,919
投資その他の資産		
投資有価証券	4,280,783	5,795,806
出資金	14,860	14,860
退職給付に係る資産	774,000	784,495
差入保証金	223,016	222,035
その他	20,625	23,348
貸倒引当金	△1,960	△2,100
投資その他の資産合計	5,311,325	6,838,446
固定資産合計	16,745,579	18,016,872
資産合計	42,406,886	41,896,972

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,101,931	3,204,154
短期借入金	—	2,300,000
未払金	320,580	230,893
未払費用	690,172	690,269
未払法人税等	575,075	380,242
未払消費税等	88,577	148,288
その他	55,396	75,122
流動負債合計	5,831,734	7,028,970
固定負債		
長期末払金	125,500	125,500
長期預り保証金	152,851	151,501
繰延税金負債	686,687	855,889
退職給付に係る負債	124,827	126,865
固定負債合計	1,089,865	1,259,756
負債合計	6,921,600	8,288,726
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,597,406	2,597,406
資本剰余金	2,529,295	2,529,295
利益剰余金	32,307,907	32,441,136
自己株式	△3,933,919	△6,261,474
株主資本合計	33,500,689	31,306,364
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,831,064	2,166,019
退職給付に係る調整累計額	153,531	135,862
その他の包括利益累計額合計	1,984,596	2,301,881
純資産合計	35,485,286	33,608,245
負債純資産合計	42,406,886	41,896,972

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

## 中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	23,175,163	22,774,385
売上原価	18,687,325	18,330,626
売上総利益	4,487,838	4,443,759
販売費及び一般管理費	3,582,962	3,791,762
営業利益	904,876	651,996
営業外収益		
受取利息	574	2,261
受取配当金	45,795	59,616
仕入割引	139,902	136,503
不動産賃貸料	59,854	69,917
その他	7,245	13,170
営業外収益合計	253,372	281,468
営業外費用		
支払利息	459	6,465
自己株式取得費用	10,814	20,947
その他	2,322	741
営業外費用合計	13,596	28,154
経常利益	1,144,653	905,311
特別利益		
投資有価証券売却益	—	109,264
特別利益合計	—	109,264
特別損失		
固定資産除売却損	7,713	10
特別損失合計	7,713	10
税金等調整前中間純利益	1,136,939	1,014,565
法人税、住民税及び事業税	389,257	337,899
法人税等調整額	940	17,881
法人税等合計	390,198	355,780
中間純利益	746,740	658,784
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	746,740	658,784



## 中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	746,740	658,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△290,215	334,954
退職給付に係る調整額	△15,565	△17,669
その他の包括利益合計	△305,781	317,285
中間包括利益	440,959	976,070
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	440,959	976,070
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	1,136,939	1,014,565
減価償却費	137,890	268,513
のれん償却額	28,802	28,802
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	771	△272
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△33,565	△31,096
受取利息及び受取配当金	△46,370	△61,877
支払利息	459	6,465
有形固定資産除売却損益(△は益)	7,713	10
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△109,264
売上債権の増減額(△は増加)	1,603,040	2,446,502
棚卸資産の増減額(△は増加)	56,807	66,574
仕入債務の増減額(△は減少)	△236,036	△898,328
その他	△178,124	158,847
小計	2,478,327	2,889,441
利息及び配当金の受取額	48,651	60,955
利息の支払額	△830	△6,331
法人税等の支払額	△403,236	△522,142
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,122,912	2,421,923
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△49,200	△49,200
定期預金の払戻による収入	26,200	25,200
有形固定資産の取得による支出	△201,655	△44,636
投資有価証券の取得による支出	△13,191	△1,035,968
投資有価証券の売却による収入	—	118,898
無形固定資産の取得による支出	△453,718	△9,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△691,564	△995,705
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	2,300,000
自己株式の取得による支出	△1,081,731	△2,327,554
配当金の支払額	△352,872	△514,618
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,434,604	△542,173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,256	884,044
現金及び現金同等物の期首残高	8,414,882	7,253,862
現金及び現金同等物の中間期末残高	8,411,626	8,137,906

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	1,590,710	1,539,096	1,802,721	655,892	5,588,421
工作用器具	190,773	553,582	567,547	23,795	1,335,698
機械器具	1,580,397	1,988,464	3,566,339	70,323	7,205,525
空・油圧器具	1,083,979	1,161,575	2,424,081	37,135	4,706,772
その他	1,167,225	1,299,799	1,843,370	28,350	4,338,746
顧客との契約から生じる収益	5,613,086	6,542,518	10,204,059	815,498	23,175,163
外部顧客への売上高	5,613,086	6,542,518	10,204,059	815,498	23,175,163
セグメント利益	222,847	223,031	395,194	63,802	904,876

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	東部	中部	西部	海外	
測定工具	1,411,617	1,404,945	1,686,088	655,510	5,158,161
工作用器具	152,477	478,237	578,563	25,416	1,234,695
機械器具	1,620,653	1,942,003	3,287,921	93,587	6,944,166
空・油圧器具	1,127,041	1,192,174	2,545,381	50,159	4,914,757
その他	1,068,350	1,436,935	1,984,407	32,911	4,522,605
顧客との契約から生じる収益	5,380,140	6,454,296	10,082,362	857,585	22,774,385
外部顧客への売上高	5,380,140	6,454,296	10,082,362	857,585	22,774,385
セグメント利益	105,313	129,549	358,831	58,302	651,996

(注) 報告セグメントの利益の金額は、中間連結損益計算書の営業利益で行っており、差額はありません。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。